

[バックナンバーを探す](#)[紙面ビューアー](#)

2024年12月4日号 3面 掲載

アズパートナーズ 介護DX人材、決意表明 20周年・上場記念し式典

介護

2024年12月5日

アズパートナーズ(東京都千代田区)は11月20日、創業20周年と4月の株式上場を記念し都内で式典を催した。介護事業を展開する法人や取引先企業など616名が参加。業界の未来に向けたビジョンを発表した。



鴨下氏が来賓挨拶 「未来のモデルに」

きた。

植村健志社長は「創業以来さまざまなことにチャレンジし、それを楽しんできた。この企業風土と文化で事業を発展させ、介護業界を社会的評価の高い業界に変えていきたい」と語った。同社は現在、介護付きホーム28施設、デイサービス・ショートステイ20事業所を展開。「今後も90室以上の規模のホームを作っていく」とした。新規事業では、介護業務効率化支援システム「EGAO link」を活用した介護DXサポート事業を広げていく方針。

各事業部役職者や社外取締役・監査役を紹介したのち、元環境大臣・元衆議院議員の鴨下一郎氏が来賓挨拶を行った。「介護保険創設から20年以上が経過し制度の限界も見えてきた今、どのようなビジネスモデルが必要なのか。ICTの活用などにより介護保険だけに頼らないモデルをいち早く打ち出してきたアズパートナーズの今後に期待したい」と激励した。



植村社長が役職者一人ひとりを紹介

上場ドキュメントのほか、本式典のテーマをタイトルとした動画も上映した。これは、AIケアプランなどの活用による未来の科学的介護を描いたもの。これまでに約170名の新卒を採用してきた同社では、「介護DX人材」の育成も進められている。新卒10年目の伊藤太朗さ



新卒入社した職員らによる決意表明

Copyright © 2014-2024 株式会社 高齢者住宅新聞社 ALL RIGHTS RESERVED.